



## ペガサスニュース

発行人/馬場武彦  
発行/社会医療法人ペガサス  
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244  
http://www.pegasasu.or.jp/  
編集/ペガサス広報委員会  
編集協力/HIPコーポレーション  
発行/令和4年12月28日

# Vol.105

## 南大阪リハビリテーション・ケア学会開催のお知らせ

### TOPICS 3 ペガサスグループ 第9回南大阪リハビリテーション・ケア学会開催告知

## リハビリテーションに関わる全職種が 共に学び、考え、レベルアップを図ります。

令和5年3月11日(土)に、「第9回 南大阪リハビリテーション・ケア学会」を開催します。本学会は、南大阪地域におけるリハビリテーションに関わる全職種のレベルアップを図り、地域市民の生活向上に寄与することを目的として始まりました。参加者は、リハビリテーションセラピストをはじめ、看護師、介護福祉士、医療福祉相談員、臨床心理士、管理栄養士など多種多様。開催を重ねた現在では、南大阪地域に限らず、九州から東海地方までという広域から500名の向上心溢れる多職種が参加する学会へと成長しています。

コロナ禍で中止せざるを得なかった年もありましたが、現在は、現地会場(馬場記念病院)とオンライン会議システムを組み合わせたハイブリッド形式で開催しています。オンライン形式を取り入れたことで、さらに広域からの参加者が増えるという嬉しい効果もありました。

第9回を迎える今回も、リハビリテーションに関わる多職種が、共に学び、考え、レベルアップへとつながる学会になることを期待しています。

### 第9回 南大阪リハビリテーション・ケア学会

- 日程/2023年3月11日(土)
- 会場/社会医療法人ペガサス 馬場記念病院  
ハイブリッド形式(現地会場+オンライン)
- 特別講演/  
「2040年を見据えたリハビリテーションへの期待」  
真鍋 馨氏 厚生労働省 保健局 医療課長  
「リハビリ看護について」  
猪川まゆみ氏 医療法人社団珪山会  
鶴飼リハビリテーション病院 看護部長

### 一般演題募集中

多職種からの  
演題を募集しています。  
締切/  
2022年12月25日(日)

開催スケ  
ジュール  
など  
詳しくはこちら



〈お問い合わせ先〉  
大会事務局 pegasus.rehab.care@gmail.com  
社会医療法人ペガサス 法人本部  
電話:072-263-0630 FAX:072-263-0650  
※メール本文には、発信者名・所属施設・電話番号を必ず記載してください。



## 介護支援専門員・相談援助職・介護従事者向け ペガサス リモート セミナー 参加費無料

### 「馬場記念病院における脳卒中患者へのピアサポート取り組みについて」 ～MSWと脳卒中体験者からの実践報告～

- 講師:馬場記念病院 医療ソーシャルワーカー 丸山 秀幸  
脳卒中ピアサポーター 高野 直也
- 開催日:2023年2月16日(木) 16時～17時
- 申込期限:2023年2月14日

お問い合わせ/  
ペガサスケアプランセンター石津北  
072-245-9615(八尾まで)  
t-yao-cpc@pegasus.or.jp  
お申し込みはQRコードから▶



## ペガサス健診センターの ご案内

ペガサス健診センターは、最新鋭の医療機器を使用し、適切な診断を提供しています。一般健診・企業健診、人間ドックなど、多彩なメニューからお選びいただけます。お問い合わせ/072-265-6006



## ペガサスグループ 株式会社ユニコ

取り扱う紙おむつは  
150種類以上。  
大幅な値下げも  
実施中です。



●お問い合わせ  
TEL:0120-062-505

## 私たちと一緒に働きましょう。

随時受付  
しています

### 介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

### 障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり  
業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃  
D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ/馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089



社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ  
https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus

## ペガサスマンモサデー

### 開催予定

【開催日】(予定)

1/15(日)

2/5(日)

【開催時間】

9時～16時

【お問い合わせ】

TEL:072-265-6006  
(ペガサス健診センター)

## ペガサスから地域のみなさまへ

## 馬場記念病院が、本年度も日本脳卒中学会より 〈一次脳卒中センター・コア施設〉として 認定されました。

### ○脳卒中の診療における地域格差と対策

脳卒中は、国民の死亡原因の第4位、65歳以上の寝たきり原因の第1位という疾患です。中でも脳卒中の3分の2を占める脳梗塞は、約60%の方が死亡または重篤な障害を残すという大変恐ろしい疾患です。治療については「専門性」と「時間との闘い」を両立させることが求められます。これまでも全国各地の医療機



関・医療従事者が懸命に努力し対応してきましたが、医療の高度化に伴い、対応できる医療レベルに地域格差が生まれました。日本脳卒中学会ではこのことを重く受け止め、どこに暮らしていても同じよ

### ○一次脳卒中センター認定の現状

日本脳卒中学会が、人材や機能、施設面に一定の認定基準を設けて、それをクリアした施設を一次脳卒中センターとして認定しています。具体的には急性脳卒中が疑われる患者さまを24時間365日受け入れ、発症から4.5時間以内の脳梗塞に対しては静注血栓溶解(t-PA)療法が可能な診療体制が求められます。その認定をめざし各病院が努力を重ねることで標準的な脳卒

関・医療従事者が懸命に努力し対応してきましたが、医療の高度化に伴い、対応できる医療レベルに地域格差が生まれました。日本脳卒中学会ではこのことを重く受け止め、どこに暮らしていても同じよ

うな診療が受けられる「均てん化」をめざし2017年に取り組みをはじめました。それが一次脳卒中センター(PSC:Primary Stroke Center)の制度づくりです。

## 【一次脳卒中センター(PSC)の認定要件】

- 24時間365日診療、静注血栓溶解療法を開始できる
- 頭部CT、MRI検査などが施行可能
- 脳卒中ユニットを有する
- 脳卒中診療に従事する医師が24H/7D体制で勤務している
- 脳卒中専門医が1名以上、常動している
- 脳外科的処置が必要な場合、迅速に対応可能
- 機械的血栓回収療法が施行できることが望ましい
- 機械的血栓回収療法が施行できない場合、近隣のPSCへ搬送できる手順書を有す
- 定期的な臨床指標取得による脳卒中医療の質をコントロールする

さらに、一次脳卒中センターの認定施設の中で、下記の条件を満たす施設が一次脳卒中センター・コア施設として学会から委嘱されています。

- 急性期脳主幹動脈閉塞に対してカテーテルを用いた機械的血栓回収療法ができる資格を持つ医師が3名以上常動している。
- 脳卒中相談窓口を開設している。



サポートできることが大きな特徴です。これからも一次脳卒中センター・コア施設としての機能を維持・向上させるために人材育成、環境整備に努め、地域医療を支えていきます。



## 大運動会

# 3年ぶりに秋の大運動会を開催！ 職種・部署を超えた団結力を、 チーム医療・介護に活かします。



新型コロナウイルス感染症が発生して以降、開催を見送っていたペガサスグループ・秋の大運動会が、令和4年10月1日、J-GREEN堺にて3年振りに開催されました。ペガサスグループ（社会医療法人ペガサス、社会福祉法人風の馬など）のほぼ全ての部署から、約280名の参加者が集まりました。医師、看護師、リハビリテーションスタッフ、技術職、介護福祉士、保育士、事務員、職員の家族などに加え、今回はじめてペガサス大阪南看護学校の学生も参加しました。

プログラムは、徒競走、チーム対抗リレー、大玉転がし、大縄跳びといった運動会お馴染みの競技に加え、フットサル、○×クイズ、ミニゲームなど盛りだくさんの内容で、若手職員からベテラン職員、小さな子どもまで参加し楽しめる

運動会となりました。3年振りの開催、短い準備期間ということで運営を担った職員サポートセンターのスタッフには、不安もあったようですが、オンライン会議システムやオンラインストレージなどのICTツールを活用することで、参加者みんなに喜んでもらえる運動会を実現することができました。

ペガサスが開催する大運動会のようなイベントには、職員の親睦を深め、リフレッシュしてもらうこと以外に、もう一つ大きな目的があります。それはイベントでの部署や職種を超えた団結力を、日常の医療・介護に還元することです。今回の大運動会で得られた団結力も、多職種チームで患者さま、利用者さまを支えることに活かされることでしょう。



選手宣誓



参加者チーム



開会式



大玉転がし



表彰式



ミニゲーム



フットサル



チーム対抗リレー



徒競走

## TOPICS 1 ペガサス保育園つばさ 園児・保護者参加の運動会を開催

### 園児、両親、兄弟児、祖父母、 みんなが待ちに待った運動会。



令和4年10月22日、ペガサス保育園つばさの運動会が開催されました。場所はスポーツレクリエーション施設 J-GREEN堺のフットサルフィールド。

広々とした屋根付きの屋外運動場でコロナ感染対策という観点、またご家族が天候による中止・延期を心配せず参加できるという点からもとても良い施設でした。参加したのは、0歳～2歳までの医療的ケア児と健常児合わせて21名。今回は、そこに多くのお父さん、お母さん、兄弟児、祖父母の皆さんにご参加いただきました。

プログラムは、まずは運動会の定番かけっこ。0歳児もハイハイで競争します。医療的ケア児のみんなは手作りの箱車でかけっこに参加。健常児のお友達が箱車を引っ張って競争。他にも兄弟児と職員対抗の大玉転がし、親御さんによるクラス対抗リレー、医

療的ケア児と健常児が一緒になってダンスを披露したりと盛りだくさん。園児、ご家族、職員、みんなが笑顔になれる運動会を開催することができました。

コロナ禍であっても、さまざまな感染対策と工夫を凝らして発表会などのイベントを開催してきました。ただし園児と職員だけで実施して録画したDVDをご家族に提供する、クラス単位で小規模で開催するなど、みんなが参加できるイベントはしばらく実施できていませんでした。それが今回、久しぶりに園児やご家族みんなが参加できる運動会を開催することができました。保護者の皆さんも元気に活動する子どもたちの姿を見て、大変喜んでくださいました。私たち職員も大きな達成感を得ました。これからも園児、ご家族、みんなが笑顔になれるよう頑張っていきます。

## TOPICS 2 ペガサスグループ 脳卒中ピアサポートのご案内

### 脳卒中の体験者と話してみませんか。 同じ立場の人同士で語り合しましょう。

みなさんは、ピアサポート（PEER SUPPORT）という言葉をご存知ですか。「PEER」は「仲間」、「SUPPORT」は「支える」という意味です。

ペガサスでは、脳卒中を体験した人同士が対等な仲間として語り合い、支え合う活動「脳卒中ピアサポート」を推進しています。同じ立場の人が集まり、普段は周りになかなか打ち明けられない悩みや不安を相談したり、共感し理解し合う場にしていただきたいと思います。ペガサスの中にも脳卒中を経験し、障害を抱えながら働く職員がいます。その職員がピアサポーターとして参加し、病院の相談員（ソーシャルワーカー）とともに、患者さまとご家族の抱える問題解決に向けたお手伝いをいたします。



悩みや不安を一人で抱え込まず、まずは気軽に参加してみませんか。

**相談は無料です**

- 開催日（事前予約制）  
馬場記念病院 毎週月曜日 11時～12時  
ペガサスリハビリテーション病院 毎週金曜日 14時～15時
- 対象者  
馬場記念病院、ペガサスリハビリテーション病院に入院・通院中の患者さまとご家族。  
馬場満記念クリニック、ペガサスクリニック、ペガサスロイヤルリゾートに通院中の患者さまとご家族。  
（過去に入院・通院されていた方もご利用いただけます）
- お申込み先  
馬場記念病院 医療福祉相談室  
TEL 072-265-6814（直通）  
ペガサスリハビリテーション病院 医療福祉相談室  
TEL 072-265-5577（代表）